



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場会社名 株式会社 ハークスレイ

上場取引所 東

コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 井手 是幸

TEL 06-6376-8088

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	12,150	△0.3	214	△5.4	345	△11.8	244	△11.5
27年3月期第1四半期	12,190	△7.1	226	129.4	391	18.7	275	△12.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 286百万円 (△5.9%) 27年3月期第1四半期 304百万円 (△6.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	24.44	24.43
27年3月期第1四半期	27.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	37,265	18,949	50.8	1,897.16
27年3月期	37,465	18,847	50.2	1,883.28

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 18,940百万円 27年3月期 18,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	13.00	—	20.00	33.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	13.00	—	20.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,500	1.6	300	△12.6	460	△31.1	325	△30.8	32.55
通期	51,300	5.5	958	14.9	1,260	△20.0	1,360	10.5	139.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成27年8月11日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正、通期個別業績予想の前期実績値との差異及び合併に伴う繰延税金資産の計上に関するお知らせ」をご覧ください。また、当社は平成27年7月7日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。なお、当該自己株式の取得については、平成27年7月7日に公表しました「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	11,025,032 株	27年3月期	11,025,032 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	1,041,242 株	27年3月期	1,040,859 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	9,984,047 株	27年3月期1Q	9,985,175 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などにより、緩やかな景気回復の動きが見られました。しかしながら、当社グループが属する「食」の分野では、円安による原材料価格の上昇や、販売価格の上昇など消費行動を抑制する要因もあり、先行きは不透明な状況が依然続いております。

このような環境の中、持ち帰り弁当事業では、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、多様化するお客様のニーズにお応えすべく食材を厳選し、旬の食材を通じて季節を感じていただくことをコンセプトとした季節メニューのリニューアル、新商品の開発、顧客満足度向上に繋げるための店舗従業員研修を進めてまいりました。また、店舗管理事業で安定収益を確保するとともに、店舗委託事業においても優良物件の仕入、不採算店舗の解約や撤退等、収益及び利益率の向上を進めてまいりました。

このような中、当第1四半期連結累計期間の売上高121億50百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益2億14百万円（前年同期比5.4%減）、経常利益3億45百万円（前年同期比11.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億44百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①持ち帰り弁当事業

地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求いたしております。

お徳感のある「平日昼得。キャンペーン」を月間通して実施したほか、高品質で満足度の高い「厚切りロースかつシリーズ」の発売など、お客様一人ひとりのニーズに寄り添った価値の提供に努めてまいりました。また、高齢者向け宅配サービス事業「ほっか食楽」については、更なるメニューの拡大と取り扱い地域の拡充を図ってまいりました。

この結果、持ち帰り弁当事業の売上高は52億18百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は3億42百万円（前年同期比15.8%減）となりました。

②店舗委託事業

店舗委託事業においては、積極的に優良物件を仕入れることでストック収入の維持を図りつつ、前期より進めてきた不採算店舗の解約・閉鎖による減価償却費の圧縮と空家賃の大幅な削減効果により、利益率の向上を図ってまいりました。

この結果、店舗委託事業の売上高は58億44百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は85百万円（前年同期比263.9%増）となりました。

③店舗管理事業

店舗管理事業においては、当社保有物件の稼働率の維持・向上に努めつつ管理料等のマネジメント費用の削減に取り組むとともに、新たな事業として前期より展開してきたビルオーナーに対するビル管理受託業務においては、契約数を増加させることで収入の安定化を図ってまいりました。

この結果、店舗管理事業の売上高は1億50百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は87百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

④店舗直営事業

外食産業におきましては、個人消費の回復傾向を背景に全体として堅調に推移しているものの、労働需給ひっ迫に伴う人件費の上昇等により依然厳しい環境が続いております。

このような状況の中、店舗直営事業である「江戸前びつくり寿司」では、季節に合わせた宴会メニューやセットメニューの開発や「タラバガニフェア」・「初夏の寿司祭り」のフェアを積極的に展開し、お客様のニーズに対応した施策を実施することで、利益の向上に努めてまいりました。また店舗の美観向上にも取り組み、設備の改修や厨房機器の入替え等の設備投資も積極的に推進してまいりました。

しかしながら、再開発等による閉店・撤退による影響は大きく、来店客数においても前年対比減少となりました。

この結果、店舗直営事業の売上高は3億56百万円（前年同期比9.1%減）、営業利益は13百万円（前年同期比23.7%減）となりました。

⑤その他の事業

フレッシュ・ベーカリー事業においては、引き続き生産効率の向上と、毎月の新商品の提案に力を入れております。店内焼成でお客様に焼きたての商品を提供していく新たな店舗展開を千林店で展開しておりご好評を頂いております。

物流関連事業につきましては、既存インフラの強化とともに、グループ外企業からの配送、食材加工、製品化等の受託拡大を推進しております。

この結果、その他の事業の売上高は5億80百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は20百万円（前年同期比32.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億99百万円減少し、372億65百万円となりました。主要要因として、有価証券が3億円、投資有価証券が1億7百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が6億4百万円、受取手形及び売掛金が48百万円、建物等の有形固定資産が58百万円それぞれ減少したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ3億2百万円減少し、183億15百万円となりました。主要要因として、未払金が1億43百万円増加しましたが、未払法人税等が1億78百万円、未払消費税等が1億77百万円、長期借入金金が2億26百万円それぞれ減少したことによるものです。

非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加し、189億49百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末の50.2%から0.6ポイント上昇し、50.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の連結業績は想定した範囲内の実績であり、第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当社は、平成27年7月7日開催の取締役会において、当社を存続会社とし、当社の完全子会社である株式会社ほっかほっか亭総本部を消滅会社とする吸収合併を行う決議をし、同日付けで合併契約書を締結いたしました。合併の効力発生日は、平成27年10月1日とすることに伴い、平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、以下の通り修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成27年8月11日）公表しました「通期連結業績予想の修正、通期個別業績予想の前期実績値との差異及び合併に伴う繰延税金資産の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

平成28年3月期連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	51,100	950	1,250	900
今回発表予想（B）	51,300	958	1,260	1,360
増減額（B－A）	200	8	10	460

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は49,836千円減少しております。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が49,836千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,475,513	6,870,852
受取手形及び売掛金	1,796,902	1,748,721
有価証券	—	300,000
商品及び製品	463,546	584,450
原材料及び貯蔵品	135,513	116,194
繰延税金資産	215,080	213,648
その他	833,254	875,864
貸倒引当金	△45,947	△38,982
流動資産合計	10,873,863	10,670,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,453,084	6,418,245
機械装置及び運搬具(純額)	101,435	99,065
工具、器具及び備品(純額)	354,067	357,284
土地	11,152,746	11,152,746
リース資産(純額)	105,793	100,172
建設仮勘定	36,790	17,900
有形固定資産合計	18,203,917	18,145,414
無形固定資産		
のれん	138,194	129,305
その他	172,568	167,833
無形固定資産合計	310,763	297,138
投資その他の資産		
投資有価証券	1,706,434	1,813,982
長期貸付金	140,683	136,097
敷金及び保証金	5,568,054	5,570,521
繰延税金資産	60,818	61,874
長期未収入金	1,390,405	1,381,000
その他	591,414	568,698
貸倒引当金	△1,380,894	△1,380,000
投資その他の資産合計	8,076,916	8,152,175
固定資産合計	26,591,597	26,594,728
資産合計	37,465,460	37,265,477

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,421,442	2,360,526
短期借入金	670,068	653,361
1年内返済予定の長期借入金	2,115,700	2,077,200
未払金	872,054	1,015,490
未払法人税等	284,607	106,158
未払消費税等	328,753	151,272
賞与引当金	170,599	246,251
その他	1,667,019	1,809,824
流動負債合計	8,530,245	8,420,084
固定負債		
社債	22,500	5,000
長期借入金	5,644,065	5,417,390
退職給付に係る負債	43,080	41,833
長期預り保証金	3,465,452	3,524,353
繰延税金負債	260,485	275,402
資産除去債務	397,138	383,491
その他	255,017	248,330
固定負債合計	10,087,740	9,895,800
負債合計	18,617,985	18,315,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,980,653
利益剰余金	12,214,773	12,258,994
自己株式	△1,516,253	△1,516,640
株主資本合計	18,665,985	18,759,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,980	181,220
その他の包括利益累計額合計	136,980	181,220
新株予約権	2,869	3,939
非支配株主持分	41,640	4,776
純資産合計	18,847,475	18,949,593
負債純資産合計	37,465,460	37,265,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	12,190,586	12,150,666
売上原価	9,254,250	9,343,613
売上総利益	2,936,336	2,807,052
販売費及び一般管理費	2,709,953	2,592,968
営業利益	226,382	214,084
営業外収益		
受取利息	2,221	1,534
受取配当金	3,660	3,699
受取賃貸料	53,911	47,268
負ののれん償却額	68,244	—
業務委託解約益	50,997	50,045
持分法による投資利益	3,426	6,428
その他	53,927	53,037
営業外収益合計	236,388	162,013
営業外費用		
支払利息	17,184	13,381
賃貸費用	12,954	8,716
業務委託解約損	27,491	561
その他	14,058	8,407
営業外費用合計	71,688	31,066
経常利益	391,082	345,030
特別利益		
固定資産売却益	1,026	6,856
受取保険金	25,994	—
受取補償金	—	80,000
その他	750	1,300
特別利益合計	27,770	88,156
特別損失		
固定資産除却損	20,286	548
固定資産売却損	—	289
投資有価証券売却損	857	—
投資有価証券評価損	5,300	—
減損損失	—	11,550
支払補償金	—	65,000
その他	7,174	21,944
特別損失合計	33,618	99,332
税金等調整前四半期純利益	385,234	333,854
法人税、住民税及び事業税	104,390	90,409
法人税等調整額	△7,391	△1,361
法人税等合計	96,999	89,048
四半期純利益	288,235	244,806
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,521	752
親会社株主に帰属する四半期純利益	275,714	244,053

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	288,235	244,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,480	36,657
持分法適用会社に対する持分相当額	2,766	5,167
その他の包括利益合計	16,246	41,825
四半期包括利益	304,482	286,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,935	285,741
非支配株主に係る四半期包括利益	12,547	889

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	5,429,330	5,617,266	140,861	392,427	11,579,885
セグメント間の内部売上高又は 振替高	56,806	10,332	—	—	67,139
計	5,486,137	5,627,599	140,861	392,427	11,647,025
セグメント利益	407,412	23,412	77,255	17,158	525,238

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	610,700	12,190,586	—	12,190,586
セグメント間の内部売上高又は 振替高	673,180	740,319	△740,319	—
計	1,283,881	12,930,906	△740,319	12,190,586
セグメント利益	30,201	555,440	△329,057	226,382

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・バーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△329,057千円には、セグメント間取引消去△7,835千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△321,222千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	5,218,569	5,844,401	150,197	356,819	11,569,987
セグメント間の内部売上高又は 振替高	55,212	3,033	—	—	58,246
計	5,273,781	5,847,434	150,197	356,819	11,628,233
セグメント利益	342,969	85,196	87,526	13,096	528,790

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	580,679	12,150,666	—	12,150,666
セグメント間の内部売上高又は 振替高	664,772	723,018	△723,018	—
計	1,245,451	12,873,685	△723,018	12,150,666
セグメント利益	20,540	549,330	△335,246	214,084

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△335,246千円には、セグメント間取引消去△4,761千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△330,484千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。